



シンフォニー（秋田県） 「消防団員になってくれることを信じて」

由利本荘市消防団 本荘支団本部 団員
鈴木 朱里

私たちの消防団がある由利本荘市は、秋田県の南西部に位置し、県内最大の面積を占めております。南に秀峯鳥海山、東に出羽丘陵、西は日本海に囲まれ、中央部には一級河川子吉川が貫流し日本海に注ぐ、山・川・海の美しい自然に恵まれた地域です。また、古くは城下町として栄え、歴史にちなんだ観光名所が数多くあります。

私は、埼玉県入間郡毛呂山町出身で、一昨年4月に秋田県立大学に入学し、半年が経過した頃、自治会サークルに入っている男子学生から「消防団に入ったけど、鈴木さんもどう？」と誘われたのがきっかけでした。それと、入団する時の説明で、「学生消防団活動認証制度」があることを知り、「学生消防団活動認証状」や就職活動時には「学生消防団活動認証証明書」を交付していただけると聞いたのも入団するきっかけとなった一つの理由です。

さて、私たち由利本荘市消防団の女性消防団員は、支団本部に所属している6名と分団に所属している2名の計8名です。

支団本部の女性消防団員6名の主な活動内容としては、2名の班長と4名の団員で広報活動、保育園での防火防災教室、消防

訓練大会運営や消防出初式の式典補助、研修、災害現場での後方支援活動などです。分団に所属している2名の主な活動は、消防訓練大会の規律訓練に参加し、男性団員と災害現場に出動します。

広報活動は、春と秋の火災予防運動期間にのぼり旗の設置や、防火広報の呼びかけ、また今年度からは、毎年消防署で開催している「消防ちびっ子広場」の会場に、消防団ブースを設けて広報活動を実施しました。子どもには制服の試着、親達には裃纏をデザインした防火衣、通称「裃纏防火衣」を試着してもらい、消防団活動の説明や、チラシ・パンフレットも配布して消防団への勧誘も行いました。活動終了後、「防災意識の向上と、もっと消防団を知ってもらおう」と目標を立て、市で開催されたイベン



広報活動(消防ちびっ子広場)



広報活動(本荘キャンパス大学祭)

トにも数回と、10月の大学祭では2日間にわたり、来場者の方々に水消火器を使って消火器の使用方法、AED説明と体験、住宅用火災警報器の電池の取替え時期があることについて説明しました。来場してくれる方も多く、みんなで目標にしていたことが達成できたのではないかと感じています。



新規採用消防団員養成講習会

防火防災教室は、保育園に出向き、防災に対する知識を楽しんで身につけてもらうよう手作りのパネルを使っているような災害からどうやって命を守るか、ミッキーマウスの替え歌に合わせて体を動かしながら「命の大切さ」を伝えています。また、この教室の終わりには、園児に女性消防団員手作りのメダルをあげています。班長の佐藤美子さんが考案したもので、メダルのリボンを外せばコマとしても遊ぶこともできるので好評です。

今年度は、新規採用消防団員養成講習会に参加して消防団員の基礎を学び、また秋には特別教育女性消防団員教育の研修を県消防学校で受講する機会をいただきました。寮に宿泊し、2日間で消防活動訓練、救急訓練など12時間の教育を受け、知識を得ること

ができました。また、それぞれ県内の女性消防団員の活動を知ることができましたし、昨秋秋田市で開催された第23回全国女性消防操法大会を視察しましたが、機敏な動作と号令のかけ声に感動し、「すごい」とともに「やってみたい」と新たな目標と、今後の活動をしていく上での励みになりました。

由利本荘市消防団の方々はみんな優しく、楽しくとても居心地が良いので活動が楽しいです。まだ駆けだしの新米団員ですが、広報活動で接している子どもたちが、将来「消防団員」になってくれることを信じて、お世話になっている由利本荘市のためにもこれからも頑張っていきます。